

平成20年度文部科学省「先導的大学改革推進委託事業」

博士課程（後期）の学生、修了者等の進路
に関する意識等についての実態調査
報告書（抜粋）

2009年3月

財団法人 未来工学研究所

I	博士課程（後期）学生の進路に関する意識調査	
1	博士課程（後期）に進学した理由	… 1
2	博士課程（後期）に進学してよかったと感じるか	… 3
3	学位取得に対する不安	… 5
4	博士課程（後期）で経験したこと	… 7
5	博士課程（後期）で身につけたい知識・技能・態度	… 10
6	博士課程（後期）で身につくと見込まれる知識・技能・態度	… 13
7	身に付けたい能力等と身に付いていると見込まれる能力等	… 16
8	博士課程（後期）修了後に希望する就職先	… 17
9	博士課程（後期）修了後に希望する職種	… 19
10	博士課程（後期）修了後の進路に対する不安	… 21
11	修了後の進路を検討するにあたって大学に望むこと	… 23
12	博士課程（後期）における教育研究の内容について大学に望むこと	… 25
13	博士課程（後期）における教育研究環境について大学に望むこと	… 29
14	博士課程（後期）修了後に就職を検討するにあたって企業に望むこと	… 31
II	博士課程（後期）修了者の進路に関する意識調査	
15	博士課程へ進学した理由	… 34
16	博士課程に進学した良かったか	… 35
17	博士課程の研究教育を通じて、身に付いたこと	… 36
18	博士の学位の取得に対する不安	… 37
19	博士課程で学んだことは現在の職で生かしているか	… 38
20	有効だった修了後の進路に関する情報やアドバイス	… 39
21	博士課程修了後の進路選択に関してすべきであったこと	… 40
22	修了後の進路に関する学生への支援に対して大学院に望むこと	… 41
23	博士課程の教育研究の内容で大学に対して望むこと	… 42
III	博士課程（後期）担当教員の学生の進路等に関する意識調査	
24	人材養成機能として重視すること	… 43
25	教育目標として重視すること	… 45
26	教育研究上重視している取り組み	… 47
27	身につけさせたい知識・技能・態度	… 49
28	身につけていると思われる知識・技能・態度	… 52
29	身に付けさせたいことと身に付けていると思われること	… 55
30	社会が博士課程修了者に求める人材ニーズの把握	… 56
31	人材ニーズに対応するメニューのカリキュラムへの反映	… 58
32	進路を考慮した研究テーマの設定	… 60
33	視野を広げさせるための指導上の工夫	… 62
34	進路に関する指導・助言	… 65
35	進路先情報の把握	… 67

1 博士課程（後期）に進学した理由

博士課程（後期）に進学した理由としては、「研究者になりたいから」が52%と最も多く、「学位を取得したいから」44%、「高度な専門知識を身につけたいから」38%などが続いている。わずかではあるが、「特に理由はない」とする回答もみられる。

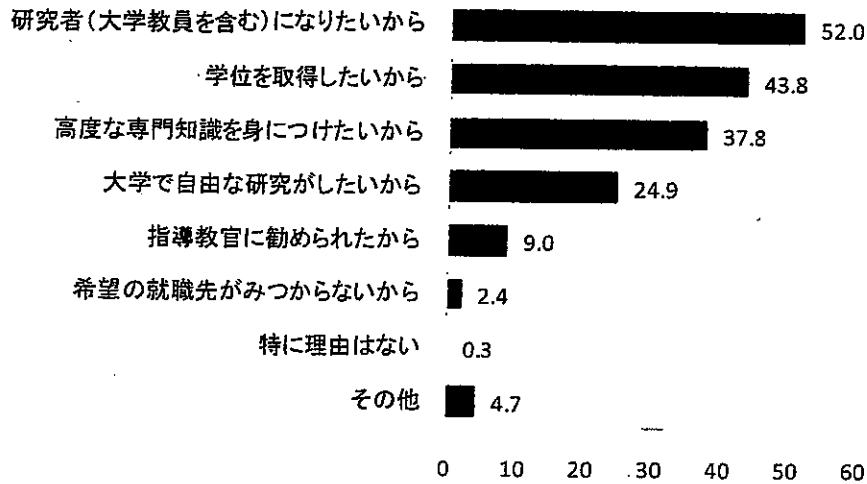


図 I-7 博士課程（後期）に進学した理由(n=2076,%)

「その他」の内容として具体的に書かれた事柄には、

- ・研究が面白かったから、研究が楽しいから
- ・博士課程（前期）で研究していた内容をより深く研究するためなどの学問的な興味と並んで、
- ・特定の職業・資格を得るために必要だったから
- ・キャリアアップの手段にしたかったから

などの将来の進路や職業に結びつくような直接的な理由も多くあげられている。

大学院の設置区分別に進学の理由をみると、どの区分においても同様の傾向を示しており、大きな差異はないことが分かる。

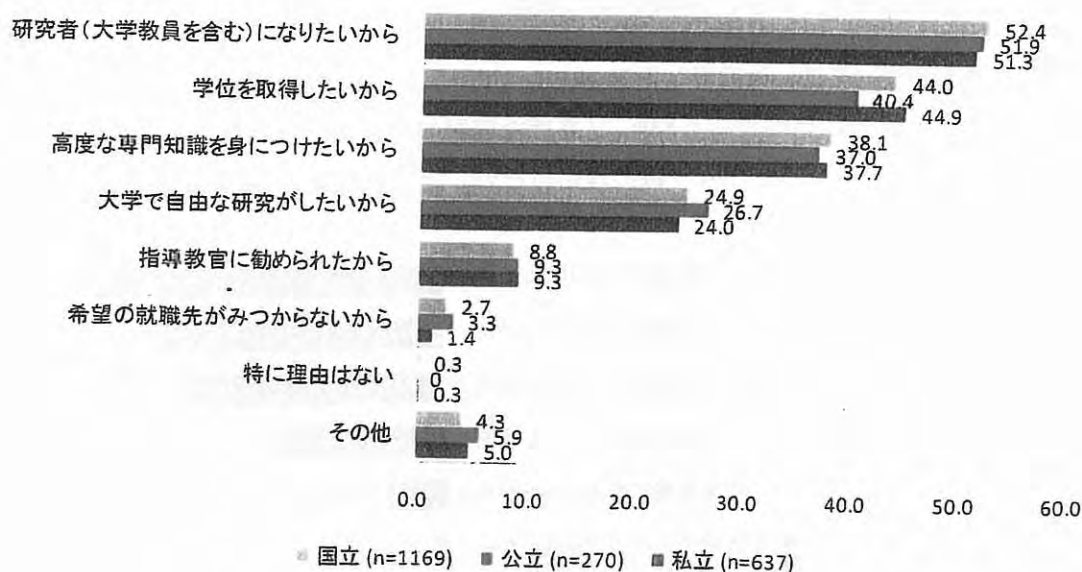


図 I - 8 大学院の設置区分別進学理由(%)

また、大学院の所在地別に進学理由をみると、四国地方で「教官に勧められたから」とする割合が若干多い以外は、地域別の特徴はみられない。

表 I - 7 大学院の所在地別進学理由(%)

	研究者(大学教員を含む)になりたいから	学位を取得したいから	高度な専門知識を身につけたいから	大学で自由な研究がしたいから	指導教官に勧められたから	希望の就職先が見つからないから	特に理由はない	その他
北海道(n=98)	56.1	45.9	33.7	24.5	8.2	2.0	-	8.2
東北地方(n=155)	46.5	47.1	38.7	21.3	10.3	2.6	-	4.5
東京都(n=310)	57.4	45.8	33.2	25.8	5.8	0.6	0.6	4.8
東京都以外の関東地方(n=270)	51.5	45.2	41.5	25.2	8.9	3.3	-	4.4
中部地方(n=308)	51.6	42.9	39.9	22.1	10.1	1.0	0.6	3.6
近畿地方(n=509)	54.8	37.7	36.1	28.1	8.6	3.1	0.2	4.9
中国地方(n=141)	46.1	54.6	34.0	22.0	13.5	2.1	-	6.4
四国地方(n=43)	41.9	41.9	41.9	20.9	18.6	4.7	-	-
九州・沖縄地方(n=238)	47.5	45.0	43.3	24.8	8.0	3.8	0.4	4.6

2 博士課程（後期）に進学してよかったと感じるか

博士課程（後期）に進学してよかったと感じるかどうかについては、よかったと感じる割合（「非常に感じる」＋「やや感じる」）は7割弱となっている。「どちらともいえない」とする割合は26%を占め、否定的な意見の割合（「あまり感じない」＋「全く感じない」）は6%程度に過ぎない。

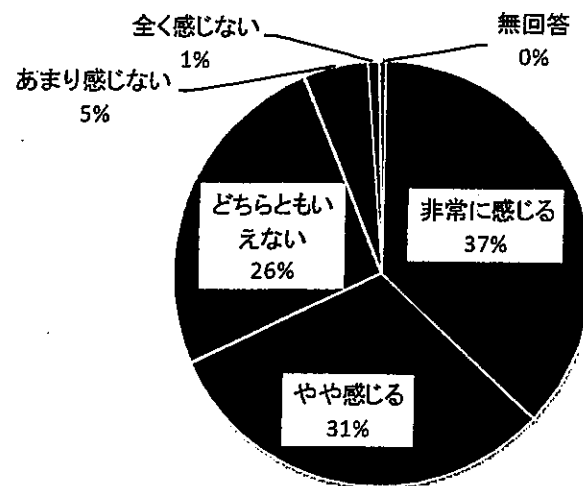


図 I - 9 博士課程（後期）に進学してよかったと感じる割合(n=2076)

博士課程後期に進学してよかった（「非常に感じる」＋「やや感じる」）と回答した人にその理由を尋ねたところ、

- ・自分の好きな研究を行えるから
 - ・研究活動を自由に行うことができるから
 - ・研究能力や専門知識を身につけることができるから
- などの意見が多かった。しかし、
- ・好きな研究を進められたことは満足しているが、その分就職の幅を狭めたかもしれない
 - ・アカデミアでの職を得るためには不可欠であるが、就職先の少なさには不安を感じる
- など手放して進学してよかったといえない状況も見受けられる。

これに対して、大学院後期への進学に否定的な意見（「あまり感じない」＋「全く感じない」）を持つ人たちはその理由を、

- ・経済的負担が大きく、学位にそれほどの価値があるとは思えないから
- ・企業への就職が不利になるから
- ・アカデミックハラスメント、パワーハラスメントがあったから
- ・教官の指導力に不満があるため
- ・将来の進路、就職のために教育を授けるという視点が教官に欠けているから
- ・自由な研究ができないから
- ・将来が見えないから

などとしており、さまざまなレベル、さまざまなタイプの問題が存在することがわかる。

次に大学院の設置区別に進学してよかったと感じるかどうかをみると、「非常に感じる」割合は私立大学にやや多く、逆に国立大学でやや少ない。国立大学では「あまり感じない」とする割合もやや多くなっている。

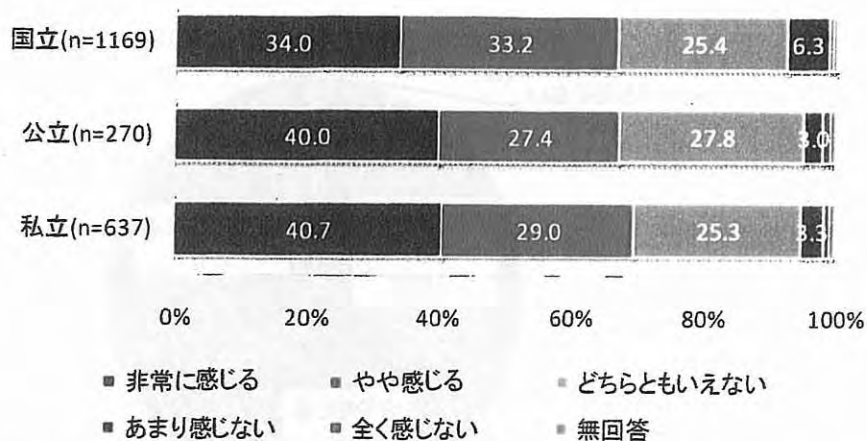


図 I - 10 大学院の設置区別進学してよかったと感じる割合(%)

大学院の所在地別に進学してよかったと感じるかを見ると、近畿地方で「非常に感じる」とする割合、四国地方で「やや感じる」とする割合がそれぞれ少し大きくなっている。また、北海道では「どちらともいえない」とする割合がやや大きい。

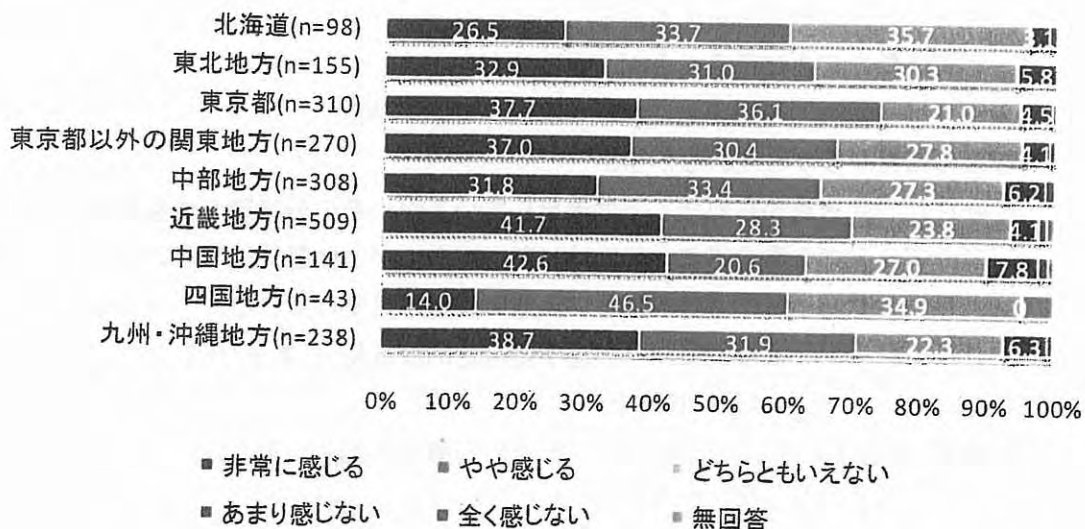


図 I - 11 大学院の所在地別進学してよかったと感じる割合(%)

3 学位取得に対する不安

学位（博士号）の取得に対して不安を感じるかどうかについて尋ねたところ、不安を感じる人の割合（「非常に感じる」＋「やや感じる」）は半数の50%にのぼった。「どちらともいえない」とする割合は30%であり、不安を感じないとする人の割合（「あまり感じない」＋「全く感じない」）は2割に満たない。

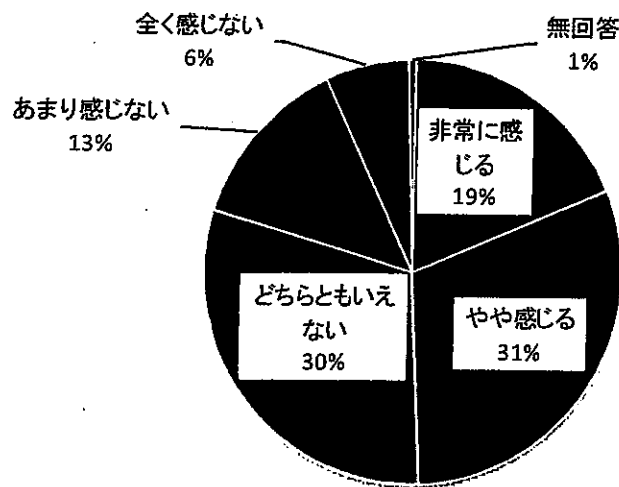


図 I - 12 学位（博士号）取得に対する不安(n=2076)

学位取得に不安を感じる人（「非常に感じる」＋「やや感じる」）にその理由を尋ねたところ、

- ・準備時間の不足
- ・研究の進捗遅れ
- ・知識・能力の不足

など研究に直接関わることを不安要因にあげる人が多かった。また、

- ・学位取得までのプロセスが透明でない
 - ・終点（学位取得）まであとどれくらいの距離があるのか把握しにくい
- など審査方法や審査基準に関する事柄を不安に感じるという意見もある。